

SUMA いる タイムズ



第14号



平成31年4月18日(木) 15:45~16:45に「第10回在宅医療講座」を開催し、35名ご参加を頂きありがとうございました。

今回は「薬剤師における訪問指導の実際」でした。須磨区薬剤師会専務理事・まこと薬局の黒田泰司先生にご講演をいただきました。居宅療養における薬剤師の役割は、薬の効果・副作用の評価・薬学的な知識に基づいて評価し服薬管理である。発表事例は、4カ所の医療機関の処方箋に多職種で介入し、ポリファーマシーの改善・服薬支援・効果副作用の評価が出来た等の内容でした。



【質疑応答】

Q)複数の医療機関から処方が出ている場合どのようにアプローチしているのか、医師とのトラブルになったことはないか(医師)

A)主治医と相談し内服の意図を確認しながら減らしていった、医師とのトラブルも話し合いで解決出来ている、薬剤師も処方の経緯が分からない事もあるので他の専門職にも介入して頂きながら進めている。



【アンケート】講演は具体的でわかりやすかったとの感想が多かった。また、訪問薬剤師の利用したことのある参加者は6割、利用をしなかった理由は訪問看護と相談、薬剤師の関わる事例にあたっていないとの意見がありました。

次回の在宅医療講座は7月開催予定です。

【次回研修案内】

平成31年度(令和元年)度第1回多職種連携検討会
「精神科疾患と内科疾患を抱えた独居の利用者の在宅療養支援を多職種で考える」

日時：令和元年6月6日(木) 17:00~19:00

会場：須磨区役所4階 多目的室

発行：須磨区医療介護サポートセンター

神戸市須磨区磯馴町6-1-4 須磨区医師会内

電話 078-735-0041

Fax 078-735-0194

<https://kobe-iks.net/>